



情報通信安全

情報通信の安全、情報システム構築を確実なものにするために、本管理局は漸次情報安全システムを立ち上げている。ファイアウォールを設置し、内部と外界のコンピュータシステムとの通信を管理する。メインコンピュータと各個人コンピュータ、それぞれ各自ウイルスバスターを設置、同時に個人のコンピュータウイルス感染ファイルの調査と管理を行い、外部からのメール実行ファイルや集合ファイルの侵入を防ぎ、コンピュータウイルス感染の危険性を下げる。検査システムを設置し、内外のシステム攻撃侵入者の有無を検査し、不定期にウィークポイント検索をかけ、ソフトのバグを探し、外部によるハッカーの侵入を防ぐ。

この他、システムの故障や災害の発生によって、システムサービスの中断を防ぐために、「情報システム災害復元計画と復旧作業手順」が制定され、重要な情報は毎日予備保存を心がけるだけでなく、異なる場所での保存方式をとり、資料の安全性を確保する。また、同時に毎年「災害復元テスト」を1回以上実施し、テスト後に関連項目を検討し改善され報告書を提出させ、「情報システム災害復元計画」の妥当性と有効性の確保をさせる。